

反原発新聞

# はんげんぱつ新聞

第440号 2014.11

- 14年夏の電力需給………2面
- 上関・広島「反原子力の日」………3面
- 川内原発再稼働に焦る推進派………3面
- 被害者救済全国集会………3面
- 講座：原発輸出を問う………4面

反原発運動全国連絡会 〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5 曙橋コーポ2階B TEL&FAX03(3357)3810 郵便振替00190-5-12484

http://www.hangenpatsu.net/

書 西山隆崖

【竹本修三さん】

大飯原発差し止め訴訟原告団長・京都大学名誉教授。1942年、埼玉県秩父市生まれ。2003年4月より07年3月まで日本測地学会会長。09年4月より国際高等研究所フェロー。11年4月よりNPO法人あいんしゅたいん・基礎科学研究所研究主管。著書に「レーザホログラフィと地震予知」「郷愁の秩父一思い出の人々」ほかがある。



1965年に京大理学部地球物理学科を卒業し、京大防災研究所に入り、そこで最初にやった仕事は、関西電力の美浜原発建設予定地の地盤調査であった。関電から提供された研究費で傾斜計や伸縮計を購入

し、関電が炉心予定地の地下に掘った地下観測坑で1年間の地盤変動精密観測を実施した。週に1度の記録紙交換は、たいてい日帰りだった。ときには美浜・丹生地区の旅館に1泊した。そこ

竹本修三

## 可愛い孫たちのために

で出された魚が美味しかったのは今でも忘れられない。この観測が美浜原発設置の可否を判断するための重要な資料になり得ると信じて地道な観測を続けたが、関電はわれわれの調査結果の如何にかかわらず、美浜に原発を設置することが既定方針だったようだ。観測を始めてから10カ月ほど経ったとき、地下観測坑の上で炉心設置のための掘削工事が始まった。われわれの調査報告を待たずに工事を始めたのは心外だった。ただ、10mを超える表土を取り除く作業の真下で傾斜計や伸縮計を用いた精密観測の例は非常に珍しく、その観測結果は関電幹部と連名の「何重変化にと

もなう土地のひずみ、傾斜の観測」という論文になっている。それ以来、2011年の福島第一原発の事故が起こるまで、私は「安全神話」を疑うこともせず、化石燃料資源の乏しいわが国においては、膨大な電力需要を賄うために原発依存も仕方ないかと思っていた。

私の専門は固体地球物理学・測地学なので、関電資料を調べてみたところ、地震・火山国ニッポンにおいて、原発稼働は土台ムリ筋であるという強い確信を持つに至った。以来、孫たちの世代に辛い思いをさせないために、反原発の運動に携わっている。



## 台湾の原発と核廃棄物貯蔵所を間近に見て

第16回ノーニュークス・アジアフォーラム

渡田正弘 (上関原発止めよう! 広島ネットワーク)

台湾で第16回ノーニュークス・アジアフォーラムが9月26日から30日まで開催された。台湾以外の参加者は、8カ国から約70名。各国からの現状報告があり、情報共有と運動協力の大切さを再確認できた。

現地から謙虚に学ぶのがフォーラムの大きな目的である。第二、第四原発(国聖龍門原発)および蘭嶼島の核廃棄物貯蔵所の見学では驚くべき実態を知った。また、反原発運動の国民的リーダーで、今年4月に第四原発建設停止を求めて無期限ハンストを敢行した林義雄氏や各地住民とも交流できた。

現状報告では、台湾、日本、韓国、インド、フィリピン、トルコ、モンゴル、香港から

反対運動も含めた報告があった。日本からの原発輸出に強く反対するインドやトルコの人びとの声。そして原発から出た核のゴミの処分場にされようとするモンゴルの現状を私たちが自身もつと伝える必要がある。

現地の反対運動から学ぶ意味では、台湾は最適な地。今年3月8日に全島で13万人が「第四原発はいらない!」の声を上げた。一方、3月18日から中国とのサービスマイ協定承認に反対する前代未聞の「立法院占拠」が始まった。この行動には反原発団体を含むさまざまな市民団体やNGOが参加していた。さらには人望厚き林義雄氏のハンストに呼応した5万人規模の台北駅前道路の占拠行動を呼び起こ

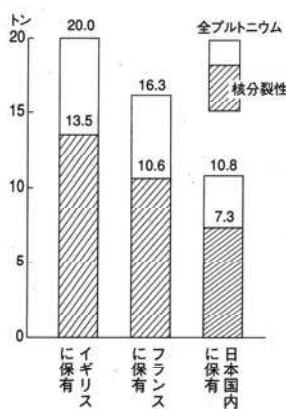
した。これらの行動はすべて整然とした非暴力行動である。そして馬政権から第四原発の建設凍結を勝ち取った。若者による一連の大行動の原動力には驚かされる。その背景には台湾で連綿と継承されてきた人権・民主化運動の苦難の歴史がある。その歴史の上に、若者たちのアイデアを生かした活動スタイルや感性が生かされている。

各国の事情が違うので簡単に真似することはできないが、各参加者は何らかのヒントを得たと思いたい。台湾を植民地支配し、第四原発に「日の丸原発」を輸出し、福島事故を経験した私たち日本人の行動が問われている。

### DATA BOX

#### 日本のプルトニウム保有量 (2013年末)

全プルトニウム 47.1トン  
うち核分裂性プルトニウム 31.4トン



### 年末カンパのお願い

「はんげんぱつ新聞」の発行を支え、紙面を充実させるため、年末カンパをお寄せいただけますようお願いいたします。

お手元に現在の郵便料金で使いにくい80円切手や50円切手ほかいくらの切手でも使えずにお持ちでしたら、現物カンパとして送っていただくと、とても助かります。あわせてお願いいたします。

●送り先 〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5 曙橋コーポ2階B 反原発運動全国連絡会

●郵便振替 = 00190-5-12484

【訂正】427号「DATA BOX」で1年前の保有量を載せましたが、フランスとイギリスが逆になっていました。訂正をお願いいたします。